

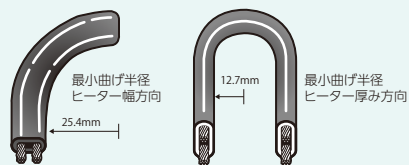
基本施工について

自己温度制御型ヒーターの一般用（非防爆）基本施工マニュアルを下記に示しますので、ご参照のうえ施工ください。尚、防爆用、雨樋用等の詳細な施工及び保守マニュアルは別途用意しておりますのでお問い合わせください。

注）自己温度制御型ヒーターと電源側の接続作業等と端末処理は「電気工事士免許取得者」に限られております。依ってこれらの作業を無資格の者が行うことはできません。

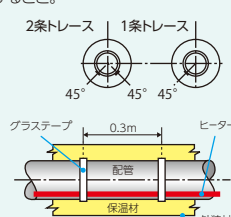
● 最小曲げ半径

導線に損傷を与えたり短絡を防止するために、ヒーターの曲げ半径はヒーター幅方向に対して25.4mm以上厚み方向に対して12.7mm以上としてください。



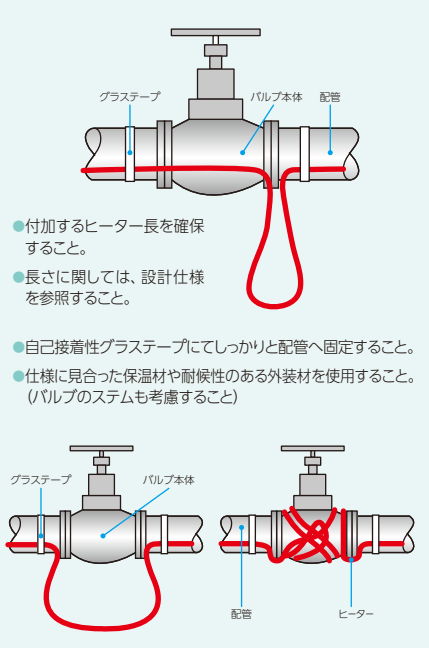
● 直線状施工

- 設計でスパイラル（らせん状）施工を要求されない限り、配管へは真っ直ぐ施工すること。
- 水平配管上ではできるだけ図のように配管下半分の45°の位置に施工すること。真下には施工しないこと。（損傷や障害物を回避する）
- 仕様に見合った保温材や耐候性のある外装材を使用すること。



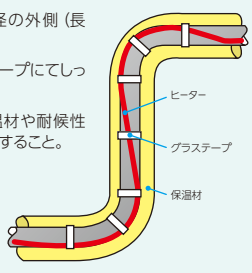
● バルブ部施工

- 付加するヒーター長を確保すること。
- 長さに関しては、設計仕様を参照すること。
- 自己接着性ガラステープにてしっかりと配管へ固定すること。
- 仕様に見合った保温材や耐候性のある外装材を使用すること。（バルブのステムも考慮すること）



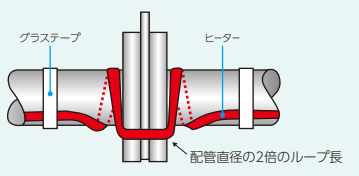
● エルボ部施工

- ヒーターをエルボ径の外側（長い）に合わせること。
- 自己接着性ガラステープにてしっかりと固定すること。
- 仕様に見合った保温材や耐候性のある外装材を使用すること。



● フランジ部施工

- 配管直径2倍のヒーターを付加すること。
- 自己接着性ガラステープにてしっかりと配管へ固定すること。
- 仕様に見合った保温材や耐候性のある外装材を使用すること。



取扱い上の注意点

- 本製品は、配管、計測器などの保温や凍結防止以外には使用しないでください。
- ヒーターの加工工事は、電気工事士が当たる電気工事です。
- ヒーターの加工工事後、樹脂管に取付ける場合必ずアースを取付けてください。純アルミテープをヒーター全体に貼付け、アルミテープからアースを取付けてください。
- ご使用前に取扱い上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 設置、施工に際しては、必ず当社製のキットをご使用ください。当社のキットをご使用にならなかった場合、または当社標準施工マニュアル以外の施工トラブルにつきましては、責任を負いかねます。予めご了承ください。

必ずお守りください

- 地面を引きずらない
- ヒーター上に重量物を置かない
- 蒸気配管など高温の配管にて使用しない
- 引っ掛かったときは、無理に引っ張らない
- 外層被覆絶縁体を破損し、絶縁劣化などによる感電や漏電火災の原因になります。
- 漏電ブレーカーは必ず設置し、樹脂管はアースを確実に取付ける
- 絶縁不良などによる漏電のとき、漏電ブレーカーが作動せず、火災、感電の原因となります。
- 配管の汚れ、バリ、溶接玉は完全に取除く
- ヒーターを破損し、絶縁不良による火災漏電の原因になります。
- 火気を近づけない
- 火災の原因になります。
- ヒーターと電源コードは、水のかかる場所や水中に取付けない
- 感電や漏電による火災の原因になります。

ヒーターの伸縮や折り曲げが繰り返される可動部へは取付けない
火災、感電の原因になります。

ヒーターに無理な力をかけない
鋭角（R20以下）に曲げたり、強く引っ張ったり、衝撃や荷重を与えないでください。火災、漏電の原因となります。

ヒーターの取付けには、専用のテープを使用する
当社指定のガラス粘着テープ、アルミ粘着テープ、ポリエステル粘着テープを使用してください。ヒーター特性に影響を与え、発熱しなくなり、凍結することがあります。